

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスアウラ		
○保護者評価実施期間	2024年 6月 1日		2025年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2024年 6月 1日		2025年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動プログラムを行っていること。	毎月職員間で意見を出し合い、制作や集団遊びの他、外出プログラムなども取り入れ、様々な体験ができるよう工夫している。	今後も、お子様たちにとって楽しい体験や、新しい体験ができるよう、様々なプログラム活動を行っていく。
2	視覚支援が充実していること。	事業所内でのルールや、一日のスケジュールなどを掲示したり、おもちゃの絵カードなどの支援グッズを活用したりすることで、子どもたちが視覚的にわかりやすく、安心して生活できるよう工夫している。	今後も必要に応じて、掲示物や視覚支援グッズなどの使用を検討し、充実させていく。
3	話す力、聞く力を育む活動を取り入れていること。	始まりの会と終わりの会を行っており、終わりの会では、一日の中で楽しかったことなどを子どもたちが発表する機会を設けている。お友だちの発表を聞き、話し終えた後には拍手をするようにしている。	今後は、お子様が主導して始まりの会や終わりの会を行えるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門的な支援を行えていないこと。	専門的な支援を行える有資格者が配置されていない。	作業療法士や理学療法士などの専門的な支援を行える人員を増やす必要がある。
2	地域との交流がないこと。	内部の支援の充実させることに重きを置いており、地域との交流の場を設けていなかった。	今後、地域との交流の場を設けていく。
3	保護者同士の交流がないこと。	保護者同士が関われる場を提供していなかった。	今後、保護者が参加できる活動や保護者会などの検討をしていく。